

**第2次南アルプス市総合計画  
後期基本計画・施策マネジメントシート**

政策No.	1	政策名	安全でみどり豊かな 人がつながるまちの形成	施策主管課	防災危機管理課
施策No.	5	施策名	交通安全の推進	施策主管課長名	小林 康志
施策関連課名		市民活動支援課			

**1 施策の目的と指標**

(1) 対象(誰、何を対象としているのか) ※人や自然資源等	→	(3) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
市民		A 人口	人
(2) 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)	→	(4) 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
交通事故に遭わない、交通事故を起こさない		① 市内の交通事故件数	件
		② 子どもと高齢者の交通事故件数	件
		③	
		④	

成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)	①	交通事故の発生状況を示す/市民が交通事故に遭わないこと、交通事故を起こさないことが意図であるため、成果指標とした。
	②	子どもと高齢者の交通事故の発生状況を示す/市が実施する交通安全対策の成果を測るものとして有効であるため、成果指標とした。
	③	
	④	
成果指標の測定方法 (どのように実績値を把握するか)	①	南アルプス警察署管内の年間交通事故件数(山梨県警察本部発行の交通事故統計)
	②	南アルプス警察署管内の子ども(15歳(中学生)まで)と高齢者(65歳以上)の交通事故件数(山梨県警察本部発行の交通事故統計)
	③	
	④	

**2 指標等の推移**

指標名	単位	数値区分	前期基本計画					後期基本計画				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
対象指標	A 人口	見込み値					71,089	70,568	70,041	69,521	68,996	68,430
		実績値	72,305	72,018	71,880	71,602	71,370					
	B	見込み値										
		実績値										
	C	見込み値										
		実績値										
成果指標	① 市内の交通事故件数	目標値	-	-	-	-	-	203	192	183	174	165
		実績値	264	287	323	225	184					
	② 子どもと高齢者の交通事故件数	目標値	143	141	139	137	135	66	63	60	57	54
		実績値	90	100	95	74	78					
	③	目標値										
		実績値										
	④	目標値										
		実績値										

目標設定の考え方・理由(可能性と必然性)

- ① 令和1年度を成り行き値の225件の-5%で見込み、更に令和2年度は、令和1年度の見込み値の-5%減とする。  
年間交通事故件数は、前年度事故件数の5%減を目指す。(令和元年度南アルプス市交通安全実施計画より)
- ② 令和1年度を平成30年度の74件の-5%で見込み、更に令和2年度は、令和1年度の-5%減とする。  
年間の子どもと高齢者の交通事故件数は、交通事故件数と同様に前年度事故件数の5%減を目指す。

**3 施策の役割分担**

①市民(市民、事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)	②行政(市、県、国)の役割(協働を進めるため市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ルールを遵守し、交通マナーの向上に努める。</li> <li>・交通安全を意識し、交通事故を起こさないようにする。</li> <li>・交通安全教室や交通安全推進キャンペーン等に積極的に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全意識の向上を図るため、啓発活動を推進する。</li> <li>・交通安全教室や講習会等を実施するため、専門交通指導員等の設置を推進する。</li> <li>・交通安全施設(カーブミラーなど)の新規設置、修繕に取り組む。</li> </ul>

**4 施策の状況変化・住民意見等**

①施策を取り巻く状況変化(対象や根拠法令等は、今後(~R3年度末を見越して)どのように変化するか?)	②関係者からの意見・要望(この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11次南アルプス市交通安全計画を策定する。(令和2年)</li> <li>・子ども、高齢者、歩行者の交通安全の確保。</li> <li>・交通安全施設の経年劣化と耐用年数の経過。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の運転マナーの向上、交通ルールの遵守。</li> <li>・交通安全施設の更新。</li> <li>・交通規制の要望。</li> </ul>

**5 予算等の推移**

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
関連事業本数	6				
関連事業予算額(単位:千円)	18,698				
(予算額の内訳)	国庫支出金	0			
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	8,227			
	一般財源	10,471			

(1) 目標達成度(目標値との比較)	※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 目標より高い実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば目標より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より低い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標より低い実績値だった	市内の交通事故数が減少したが、子供と高齢者の事故件数が増え、子供と高齢者の占める割合が大きくなったが、総合的にはR3年度までの目標値も下回っており、目標より高い実績値とした。
(2) 時系列比較(どのように変化してきたか)	※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	年々市内の交通事故件数は減少傾向にあり、交通安全啓発活動の浸透により市民の交通安全意識が向上されたことも交通事故件数の減少の要因の一つと考えるため、成果が向上したとした。
(3) 他団体比較(近隣他市、県・国との比較など)	※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である	交通事故発生件数については、生活圏や幹線道路の規模等、様々な条件によって変わるが、人口が同規模の甲斐市や笛吹市に比べ交通事故発生件数は少なく県内13市の中では4番目の発生件数となっている。

## 7 基本計画期間における施策方針

(1) 施策の基本方針
交通安全計画に基づき、警察署や地域及び関係団体と連携して交通事故防止を推進するとともに、カーブミラーなど必要な交通安全施設を整備します。

## 8 施策の目標達成のための基本事業の今年度(R2年度)の取組(事務事業)状況・今後の課題と次年度(R3年度)の方針

基本事業	今年度(R2)の取組(事務事業)状況及び今後の課題	次年度(R3)の方針
1 交通安全意識と交通マナーの向上	コロナウイルス感染症拡大防止で制限された活動の中にあつて、交通に対する意識やマナー向上のためにできる代替案を実践する。	前年度の活動内容を精査し、精査した結果を基に今後も継続した交通に対する意識やマナー向上を図れる活動を実践する。
2 交通安全施設の整備	自治会や学校からの要望などにより危険箇所を把握し、カーブミラーや注意看板などの交通安全施設の設置や修繕に努める。	自治会や学校からの要望などにより危険箇所を把握し、カーブミラーや注意看板などの交通安全施設の設置や修繕に努める。
3		
4		
5		